

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	71	豊田市長 大沼小 学校	代表	加藤 由香
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	伝統文化「雅楽」の音色が響く学校	分野	h	伝統文化
サブテーマ	ー地域の力と小規模校のよさを生かす全校雅楽をめざしてー	h(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・大沼小学校区に伝わる「雅楽」の伝承活動を行ったり、地域について調べたりすることで「雅楽」の優しい音色が響く学校づくりを進め、日本古来の伝統文化のよさを感じ取る心豊かな児童の育成を図る。 ・「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方と連携して活動し、地域への関心を深める。 ・雅楽で用いる楽器の演奏練習を児童と教師が一緒に行うことで児童との親密な関係を築き、大沼小学校の雅楽を発展させようとする意欲を共に高める。 ・地域の文化活動に積極的に参加するとともに、「雅楽」を通して学校、家庭、地域のつながりを一層深め、ふるさとに誇りを抱き、郷土を愛する心を醸成する。 			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6年生は週1時間程度活動を行い、音楽・総合的な学習・クラブ活動の時間として、年間を見通して計画的に活動を進める。 ・1、2年生は音楽の時間として年間5時間程度を確保し、雅楽の鑑賞をしたり、歌ったり演奏体験をしたりすることで雅楽に参加できるようにする。 ・「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方と連携して演奏技術の向上を図るとともに、職員も技術の修練に努める。 ・学芸会では、衣装を身につけての演奏を披露する。 ・地域の施設等での演奏披露の機会を地域の主導で設定していく。 ・全員が活動できるように楽器や備品等の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 4月 年間学習計画を立てる。練習計画を作成し、雅楽活動を開始する。 1月 学芸会で演奏し、地域や保護者に成果を発信する。 2月 ボランティアさんに感謝する会で雅楽を披露する。 3月 6年生から下学年への引継ぎを行う。 			
補助員配置	校内整備員 心の相談員			
実績・期待される効果	【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・講師や地域の方々とは伝統文化を通じた交流をし、ふるさとを愛する心を育むことができた。 ・縦割りグループによる演奏練習により技術の向上と伝統の継承を自分たちの手で行っていることを実感し、自己有用感につながった。 ・児童が、大沼小には雅楽があるという誇りをもち、それが保護者や地域の雅楽への理解につながった。演奏会には多くの保護者が参加し、衣装の着付けなどにも積極的に協力してくださっている。保護者アンケートにも活動に対する関心の高さや、協力への意識の高まりが表れている。 【期待される効果】 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校のよさを生かしたきめ細かな指導を通して、児童の意識が高まり、一人一人の努力の成果が認められる活動ができる。 ・年間を通した活動で、校内、校外での発表の場を有効に活用し、多くの方と伝統文化を通じた心の交流をすることで、児童がふるさとに誇りをもち、郷土を愛する心をさらに育むことが期待できる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後、児童にアンケートや感想を書かせ、取組を振り返らせて、達成感につなげる。 ・学芸会などでの演奏の様子を「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方に見ていただき、雅楽の演奏技術の向上について評価をしていただく。 ・保護者アンケートを通して1年間の取組の様子について評価をしていただく。 ・学校だよりやホームページなどで活動の様子を発信し、学校運営協議会委員など地域関係者の意見を集める。 			